## 自己署名証明書(LGPKI)の入手と設定について

堺電子登録・電子調達システム等の利用に当たっては、地方公共団体における組織認証基盤(LGPKI) における自己署名証明書のインストールが必要です。電子登録システム・電子調達システムを利用した 際に、次の警告が表示される場合は、以下の手順を参考に自己署名証明書のインストールを行ってくだ さい。なお、インストール方法や操作画面については、利用環境によって異なります。

※警告が表示されない場合は、そのままご利用いただけます。



①自己署名証明書のダウンロード

以下のページから自己署名証明書をダウンロードし、デスクトップ等に保存してください。

https://www.lgpki.go.jp/CAInfo/install.htm (「LGPKI における自己署名証明書の取得」のページ)



## ■ LGPKIにおける自己署名証明書の取得

LGPKIでは、次の自己署名証明書等を公開しております。

なお、証明書のインストール方法は、使用するアプリケーションによって異なりますので、 インストール方法につきましては、ブラウザ等のアプリケーション提供元へお問い合わせください。

自己署名証明書をインストールする際には、自己署名証明書が改ざんされていないことを確認するために、表示されるフィンガープリント(拇印)と、本ホームページのフィンガープリント一覧に表示されるフィンガープリ ントと相違がないかを確認し、自己の責任においてインストールを行ってください。

またLGWAN用Webサーバ証明書を発行するアプリケーション認証局R2及び情報連携で利用する暗号化通信 用等証明書を発行する組織認証局の自己署名証明書についてはLGWAN内にて公開されているLGPKIホームペー ジの方をご参考ください。

項番	名称	概要	自己署名証明書識別情報
			(フィンガープリント等)
1	組織認証局R2 白己雪白起9 <u>ocar2.cer</u>	LGPKIから発行さ れた第四次職責証 明書のトラストア ンカー(信頼点)で ある組織認証局R2 の自己署名証明書 です。	Subject: OU = Organization CA R2 O = LGPKI2 C = JP Issuer: OU = Organization CA R2 OU = CGPKI2 C = JP

②自己署名証明書の捺印と、フィンガープリントが一致するか確認する

1. ダウンロードした証明書ファイルをダブルクリック



2. 詳細タブ⇒捺印をクリックし、下に表示された数値を確認

🚂 証明書		×		
全般 詳細 証明のパス				
表示( <u>S</u> ): <すべて>	~			
フィールド	値	^		
□□□ 公開キーのパラメーター	05 00			
家 CRL 配布ポイント	[1]CRL Distribution Point: Di			
	KeyID=0b aa 39 82 d8 a6 99			
切 サブジェクト キー識別子	0b aa 39 82 d8 a6 99 b8 e1 0			
〒キー使用法	Certificate Signing, Off-line			
🖉 基本制限	Subject Type=CA, Path Leng			
🔄 拇印アルゴリズム	sha1			
圖 拇印	b4 cb d1 4c c5 d3 8e d2 ba a 🗸			
b4 cb d1 4c c5 d3 8e d2 ba ae c4 1b e0 18 8b e3 69 f2 0e c9				
1				
	プロパティの編集(E) ファイル	にコピー( <u>C</u> )		
		OK		

3. 2 で確認した数値と、「LGPKI における自己署名証明書の取得」のページに記載されたフィンガ ープリントの数値が一致するか確認する。



なお、証明書のインストール方法は、使用するアプリケーションによって異なりますので、 インストール方法につきましては、ブラウザ等のアプリケーション提供元へお問い合わせください。

自己署名証明書をインストールする際には、自己署名証明書が改ざんされていないことを確認するために、表示されるフィンガープリント(拇印)と、本木ームページのフィンガープリント一覧に表示されるフィンガープリ ントと相違がないかを確認し、自己の責任においてインストールを行ってください。

またLGWAN用Webサーバ証明書を発行するアプリケーション認証局R2及び情報連携で利用する暗号化通信 用等証明書を発行する組織認証局の自己署名証明書についてはLGWAN内にて公開されているLGPKIホームペー ジの方をご参考ください。

項番	名称	概要	自己署名証明書識別情報 (フィンガープリント等)
1	組織認証局R2 自己著名証明書 ocar2.cer	LGPKIから発行さ れた第四次職責証 明書のトラストア ンカー(信頼点)で ある組織認証局R2 の自己署名証明書 です。	Subject: OU = Organization CA R2 O = LGPKI2 C = JP Issuer: OU = Organization CA R2 OU = Corganization CA R2 O = LGPKI2 C = JP Serial No.: 5b 86 59 83
			Finger Print: b4 cb d1 4c c5 d3 8e d2 ba ae c4 1b e0 18 8b e3 69 f2 0e c9(sha-1)
			35 a6 f8 e3 fd 49 e2 e5 9b 36 24 d0(sha-256)

③自己署名証明書をインストールする

1. ダウンロードした証明書ファイルをダブルクリック



2. 全般タブ、証明書のインストールをクリック

全般 詳細 証明のパス					
20月 証明書の情報					
この CA ルート証明書は信頼されていません。信頼を有効にするにはこの証 明書を信頼されたルート証明機関のストアにインストールしてください。					
発行者: Organization CA R2					
有効期間 2018/08/29 から 2028/08/29					
証明書のインストール(D 発行者のステートメント(S)					
ОК					

3.「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」をクリック

	ין עריין, איז				
i	証明書ストア				
	証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。				
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。				
	○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)				
	● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)				
	証明書ストア: 参照(B)	1			
		1			

4.「信頼されたルート証明機関」を選択し「OK」をクリック

証明書ストアの選択	×
使用する証明書ストアを選択してください( <u>C</u> )	
(囲↓	7
- 信頼されたルート証明機関	
□ 信頼されていない証明書	
物理ストアを表示する(S)	
OK キャンセル	

5. 証明書ストア欄が「信頼されたルート証明機関」になっているか確認し「つぎへ」をクリック

← ● 証明書のインポートウイザード	
証明書ストア	
証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができま	tす。
○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)	
証明書ストア: 信頼されたルート証明機関	<b>黪照(<u>R</u>)</b>
	_
次へ( <u>N</u> )	キャンセル

## 6.「完了」をクリック

\_

÷	- 🛃	証明書のインポ	ピートウィザード					×
		証明書の	インポート ウィサ	「ードの完了				
		[完了] をクリッ	ックすると、証明書が	<sup>が</sup> インポートされます。				
		次の設定が指 ユーザーが選 内容	i定されました: 択した証明書ストア	信頼されたルート証 証明書	明機関			
						完了( <u>F</u> )	キャンセ	IL